ひの市議会だより

第２１７号
平成28年(2016年)
11月15日 発行
日野市議会

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 代表☎042-585-1111 FAX 042-586-4605 HP http://www.city.hino.lg.jp/ ✉gikai@city.hino.lg.jp

輝く五重塔　　撮影：能登正俊さん
「伸びゆく日野市写真コンクール」入賞（高幡不動尊）

社会の担い手／しっかり支えて
高齢者憲章制定

日野市老人憲章の制定から30年余りが過ぎ、高齢者を取り巻く状況は大きく変化しました。そこで市は、この老人憲章の全部を改正し、新たな「日野市高齢者憲章」の制定を市議会に提案しました。

市議会はこれを慎重に審議しました。付託された委員会では、活発な質疑の後、「目指す社会と現状を比較して、行政が成すべきことを施策に生かすこと」「行政は公的な支えを行うという志を忘れないように」などの意見が出されました。そして本会議の採決において全会一致で可決しました。

●日野市高齢者憲章

わたくしたち日野市民は、日野市民憲章の趣旨を大切にしたまちづくりを進めて参ります。

高齢化が進む中、意欲と経験のある高齢者は、社会の大切な担い手として活躍し、支えの必要な高齢者は、周囲の人々や社会がしっかり支え、全ての高齢者がいつまでも健康で明るく幸せにくらしていけることを願って、この高齢者憲章を定めます。

1 全ての市民は、長く社会につとめた先輩として、高齢者を敬愛します。
2 高齢者は、家庭及び地域や社会の一員として、共に支え合います。
3 高齢者は、家庭及び地域や社会により、健康と明るいくらしが守られます。
4 高齢者は、知識や能力を活かして社会で活躍し、知恵や経験を次の世代に伝えます。
5 高齢者には、健康維持と生きがいをつくるため、社会参加の道が開かれます。

〈制定は平成29年1月1日〉

空き住宅管理・活用条例

日野市空き住宅等の適切な管理及び活用に関する条例を、全会一致で可決しました。

この条例は、関係する法律が昨年5月に全面施行されたことに伴い、市においても、空き住宅などの適切な管理と流通の促進を行うために制定するものです。

市議会では、この条例制定に向けて「空き家対策議員連盟」を結成し、調査・研究、市側との意見交換などの議論を重ねてきました。その成果は、条例制定に向けた提言書としてまとめられ、昨年6月に市長に提出されました。

この提言の中にある「空き家把握のための調査」「空き家発生の予防」「地域コミュニティーの活性化に向けた空き家の利活用促進」などの重要なポイントは、市が行うべき事項として条例に反映されています。

〈平成29年1月1日施行〉

平成28年第3回定例会は、9月1日から28日まで開催しました（下表参照）。この議会では、合計20件の議案が慎重に審議され、採決の結果、全て可決（認定・承認・同意を含む）しました。また、一般質問は19人の議員が質問に立ち、市政を質しました。

＜主な議題は１面と５面に掲載、全ての議案の審議結果は６面に掲載＞

平成27年度 一般会計・特別会計
決算

平成27年度の、日野市一般会計、5特別会計（国民健康保険・土地区画整理事業・下水道事業・介護保険・後期高齢者医療）、市立病院事業会計のそれぞれの決算について、特別委員会を設置して慎重に審査し（2～3面参照）、最終日の本会議において、全て認定しました。

会議の開催状況（報告）

平成28年第3回定例会は、このように行われました（主なもの）。

本会議	委員会					本会議
9/28	9/23	9/16、20～21	9/15	9/14	9/13	9/5～6、8～9	9/1
審査報告 各委員会での議案・請願の審査結果を、各委員長が報告。 **議案上程** 議員が、議案1件を提出。 **採　決** この議会で審議した市長提出議案、議員提出議案について採決。 ↓6面参照	**特別会計決算特別委員会** 平成27年度の5特別会計と市立病院事業会計の決算を審査。 ↓2～3面参照	**一般会計決算特別委員会** 平成27年度の一般会計決算を審査。 ↓2～3面参照	**環境まちづくり委員会** 環境や産業、まちづくりなどに関わる議案3件を審査。	**民生文教委員会** 福祉や教育などに関わる議案7件を審査。	**企画総務委員会** 市政全般の計画や予算の歳入、市役所の運営などに関わる議案2件と、請願1件を審査。	**一般質問** 4日間にわたり、19人の議員が33項目を質問。 ↓4～5面参照	**市長の行政報告** 前回議会以降の主要な事項を市長が報告。 **議案上程** 市長が、議案19件・報告6件を提出。 **採　決** 一部の議案を採決。

決算を徹底チェック

平成27年度 決算特別委員会の審査概要を紹介

？ 決算の認定とは　予算が収入と支出の見積もりであるのに対し、決算は収入・支出の結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われ、いかに成果を上げたのかを議会が市民の立場に立って審査・判定し、適正であると認めることです。

国民健康保険特別会計　認定

質疑

①データヘルス事業の協会健保との協定について、その後の進捗（しんちょく）状況を問う。
②一般会計繰入金の保険基盤安定繰入金について、どのように使われたのか問う。
③徴収率について、相談件数の前年度との比較について問う。
④加入者数の増減に伴う影響や、決算状況が今後どのように影響していくのか問う。
⑤健康増進事業について問う。
⑥所得不明で未申告の方に関して、世帯構成・世代構成を把握しているのか?

意見

①保険税負担の軽減こそ行うべき(反対)。
②40歳代・50歳代の引きこもりに対して、将来への投資という観点で、アウトリーチ型の保護に取り組んでもらいたい(賛成)。
③一般会計の繰入金の削減に向けた、さらなる取り組みをしてもらいたい(賛成)。

区画整理事業特別会計　認定

質疑

①豊田南土地区画整理審議員の逝去による選挙について問う。
②保留地の処分の仕方と見通しについて問う。

意見

①区画整理事業の透明性・公平性を守りながら進めて欲しい(反対)。
②市民合意をしっかり取り付けてから、事業を進めるべき(反対)。

後期高齢者医療特別会計　認定

質疑・意見は、ありませんでした。

下水道事業特別会計　認定

質疑

①流域下水道建設事業経費に関して、南多摩処理区・浅川処理区・秋川処理区の負担金について問う。

介護保険特別会計　認定

質疑

①介護保険事業者情報提供業務委託料の詳細について問う。
②特別養護老人ホームを今後整備する必要性について、市の見解を問う。
③介護保険サービス利用者の中で、認知症の方の人数を問う。
④生活支援総合事業の登録事業者数について問う。

意見

①介護保険事業者情報提供業務委託について、業務内容の充実、見直しを図って欲しい(賛成)。

市立病院事業会計　認定

質疑

①病院経営専門監の職務について問う。
②救急車の応需率について問う。
③決算報告書について、病院としてどのような評価をしているのか?
④消費税について、控除対象外消費税がどの程度経営を圧迫しているのか?
⑤内部留保金について問う。
⑥小児の救急受け入れ状況と小児科医の数について問う。

意見

①今後も、手術・入院ベッド回転数を増やしていって欲しい(賛成)。
②市立病院として、ポリシーや発信力を持つことを考えて欲しい(賛成)。
③個々の職員の目標を明確化し、全職員が頑張っていることを褒めてあげて欲しい(賛成)。

各施策に向き合った予算執行を確認

一般会計　認定

質疑　歳入全般

①公共公益施設費の一般寄付金の基準、件数、目的について問う。
②個人市民税・法人市民税の実態について問う。また、市民生活への影響をどのように捉えているのか？
③雑入の収入未済額について問う。
④ホームページのバナー広告に対する取り組みについて問う。

質疑　衛生費・労働費

①北川原公園測量・実施設計業務委託の契約について問う。
②新生児訪問事業について詳細を問う。
③勤労・青年会館の修繕内容について問う。
④健康サポートルーム輝（かがやき）の平成27年度の実績を問う。

質疑　教育費・公債費・諸支出金・予備費

①土曜日の教育支援体制等構築事業の詳細を問う。
②学童クラブ入所基準の改正により影響を受けた児童数を問う。
③防犯カメラの設置場所について、どのような検討をしているのか？
④学校給食民間委託の余剰財源を何に充てたか？
⑤１校に１人、スクールソーシャルワーカーが必要と考えるが市の見解を問う。
⑥部活動活性化補助金の目的は何か？

質疑　議会費・総務費

①コンビニ証明書交付サービスの利用状況を問う。
②期日前投票所の増設について、検討は行ったか？
③市職員の新しい人事評価制度について問う。
④公契約条例についての市の見解を問う。
⑤生活保護事務の適正化に関する第三者検討委員会での議論内容・報告内容は、市にどのように浸透しているのか？
⑥第５次基本構想・基本計画市民意識調査について、市の見解を問う。
⑦ホームページの充実について、具体的な状況を問う。
⑧滞納処分の執行停止と不納欠損の理由について問う。

質疑　農業費・商工費・土木費・消防費

①道路舗装、補修計画の実施について市の見解を問う。
②ミニバス、ワゴンタクシーの利用実績について問う。
③花のまちづくり事業の位置付けについて問う。
④市民農園の使用料引き上げによる利用者の声は、どのようなものがあったか？
⑤街路灯費の不用額について問う。
⑥橋梁（きょうりょう）長寿命化計画の概略について問う。
⑦遊具修繕計画について問う。
⑧公園遊具の平成27年度の修繕・新設・撤去数について問う。

質疑　民生費

①避難行動要支援者対策事業の具体的な内容を問う。
②高齢者民間住宅家賃助成の現状について問う。
③貧困対策上の学習支援について、情報発信の仕方や職員の配置について問う。
④子ども家庭在宅サービスの一時保育事業について、どのような進め方をして、どのような利用者数になっているのか問う。
⑤障害者福祉サービスの充足率について、当初計画と後期計画の数字が異なっているが、その理由は？
⑥子どもの貧困定策も踏まえた、保育料の自己負担の支援策について問う。
⑦「そらに響け！ヒノソング」のＣＤ売り上げ実績について問う。

質疑　総括質疑

①法令順守も含めた、今後の自治体運営の決意を問う。
②子どもに関する施策全般について、国からの委託事業を問う。
③施設予約システムは、全ての施設で統一した対応が必要と考えるが、是正すべき点はなかったのか？
④橋梁（きょうりょう）長寿命化事業の対策により、耐震化でどのくらいの地震に耐えられることが出来るのか？
⑤平和事業基金と、新選組関連資料収集基金の成り立ちと現状について問う。
⑥市民農園の利用料アップに伴う利用者数を問う。
⑦東京オリンピック・パラリンピックに向けた、平成27年度の各部署での取り組みを問う。

意見　一般会計決算の認定に賛成か、反対か　～各会派の総括意見(要旨)

※無会派議員の賛否表明…賛成１人・反対１人

平成27年度 **決算額**
歳入　1,188億2,809万円　(前年度比 7.7%増)
歳出　1,161億5,071万円　(前年度比 6.7%増)

会計別		歳入／歳出	前年度比
一般会計		641億2,265万円	6.2%増
		612億2,927万円	4.7%増
特別会計		547億　544万円	9.5%増
		549億2,144万円	9.0%増
	国民健康保険	202億2,272万円	13.8%増
		200億5,822万円	14.5%増
	土地区画整理事業	49億2,654万円	22.8%増
		46億8,431万円	27.4%増
	下水道事業	51億8,972万円	5.9%増
		50億8,802万円	6.0%増
	介護保険	117億8,309万円	2.8%増
		117億7,742万円	3.0%増
	後期高齢者医療	37億7,890万円	6.2%増
		37億6,382万円	8.5%増
	市立病院事業	88億　446万円	6.4%増
		95億4,965万円	0.9%増

(注)金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

賛成　「PDCA」にもう一つのP（ポリシー）を　市民クラブ

「２０２０プラン」や各種計画との関係性／ＰＰＤＣＡを意識した事業執行になっているか／少ない経費で最大の効果が上がるよう工夫されているか。当会派は、この着眼点から審査に臨み、そして決算を認定すべきとの結論に至りました。

市長は政策実施の基本に「諸力融合」を掲げていますが、それには共通の目標を解りやすい形で共有する必要があります。「ＰＤＣＡ」の前にもう一つのＰ（ポリシー）が必要であると、当会派が訴えている理由はここにあるのです。

決算の審査は、審査内容を次の予算編成に役立てる大きな意義があります。この観点から、次に主な課題を挙げます。

①歳入増に向けてネーミングライツなどの新しい創造性を②ものづくりの力を国際貢献・平和に生かす③社会全体の損失につながる子どもの貧困に対する施策推進④100人規模の待機児童対策を高く評価。保育従事者の待遇改善も必要⑤新可燃ごみ処理施設建設は今後も丁寧な対応⑥より強い連携体制で産業立地強化・雇用確保⑦幹線道路のネットワーク化推進⑧空き家対策に、まずは1件の事例推進⑨市民の命・財産と水の郷を守る災害対策⑩スーパーひのっちの充実⑪南平体育館などスポーツに関わる環境整備を。

賛成　財政健全化と先行投資のバランスが重要　公明党

財政の健全化には、単年度の収支均衡にとどまらず、将来の財政需要に備えた弾力性が求められます。

平成27年度から28年度に繰り越す事業の財源を差し引いた実質収支では、27・7億円の黒字ですが、26年度からの繰越金や基金の取り崩し額を差し引くと、実質単年度収支では1・7億円の黒字に過ぎません。また、市債残高が735・8億円もあることを忘れてはなりません。将来の世代の負担となる市債に過度に頼らない財政運営を行う必要があります。これを念頭に、先送り出来ない事業・施策について意見を述べます。

①街路防犯カメラ設置推進を評価。継続を②マイナンバー制度でコンビニでの証明書交付サービスの早期整備を評価。利便性向上を③生活困窮者自立支援の中で学習支援「ほっとも」成果を評価。子どもの貧困対策拡充を④健康マイレージ「ひのくるポイント」を拡充し、検診や運動の参加者を増やす工夫を⑤商店街活性化に向けて商工会などと連携を⑥空き家対策条例化の取り組みを評価⑦公営住宅や橋梁（きょうりょう）、学校施設の耐震・長寿命化は喫緊の課題。着実な実行を⑧消防団活性化を評価⑨子どもの育成事業「スーパーひのっち」実施を評価。拡充を要望⑩南平体育館整備で、地域の活性化と防災に期待。

賛成　希望に満ちた日野市を継承する責任を果たす　自由民主党日野市議団

人口減少と地域経済の縮小は大きな課題です。未来を考え、可能性と希望に満ちた日野市を子どもたちに継承していくために、今何をすべきか。平成27年度は、このテーマに向き合い、持続できる社会構築に尽力した年であったと評価します。財源確保に加えて、将来急激な財政負担が見込まれる公共施設の老朽化対策などに備えた、一層の努力を重ねてください。

次に、主要な施策ごとに意見を述べます。①地域の課題は地域で解決することを目指す、コミュニティーづくりの支援強化を評価②子どもの放課後充実事業「スーパーひのっち」の実施、子育て情報サイト「ポケットナビ」の立ち上げ、子どもの学習等支援事業など、子育てしたい・しやすい日野の充実が図られていることを高く評価③年齢別疾病別のデータ分析による病気予防に向けた取り組みを評価し、拡充を期待④東京オリンピック・パラリンピックを契機とするスポーツ推進と、市南部の防災拠点も担う南平体育館の建て替えを評価⑤浅川清流環境組合設立を評価。3市が連携して着実な取り組みを⑥駅周辺や通学路の防犯カメラ設置を評価。今後もスピーディーな対応を⑦雇用創出・地域活性化の柱となる産業連携センターの開設を評価。

賛成　新たな発想で気概と粘り強さを備えた市政を　自民党新政会

平成27年度決算の実質収支は、緊縮財政に取り組んできた成果で27億7千万円の黒字ですが、市債残高は735億8千万円です。市政運営のスローガンは「諸力融合」ですが、市民の力を借りるに当たっては、市職員が新たな発想を持ち、市民といかに本気で向き合うかが問われます。気概と粘り強さを持って取り組んでください。

次に、特筆すべき経費について意見を述べます。①社会保障・税番号制度事業経費の、マイナンバー制度に関して。コンビニでの証明書発行サービスが開始されたが、さらに利便性向上に努力を②選挙管理費について、18歳からの選挙権、新たな投票所開設への準備が行われた。投票率が低迷する中、投票しやすい環境への抜本的な整備を③民生費では、待機児童解消へ保育園定員100人増が実施された。一時保育の充実も不可欠であり、都政の動きに注視を④土木費に関しては、橋梁（きょうりょう）長寿命化について。11橋の補修設計が実施され、対処予防型から予防保全型へ舵を切った。道路や公園遊具も含めて、市民の安全安心が守られる努力を⑤学校給食運営経費では、週3回以上の米の使用がある中、日野産米は総使用量の1・8%に留まる。日野の地域性を生かした地場産野菜・果物の給食利用推進を。

反対　ごみ処理広域化へ暴走 かつてない決算余剰金　日本共産党日野市議団

決算不認定の理由を2点述べます。

第1の理由は、予算に反対した最大の理由でもある、ごみ処理広域化を強行したことです。収集車搬入路計画は、その暴走ぶりが加速しています。都から法令上無理があると指摘されても、予算化して住民説明会まで突入。その強引な行政手法は、住民との信頼関係とガバナンスを崩壊させます。

第2の理由は、過去最高となった決算余剰金29億円に現れる市政運営のあり方です。かつてない余剰金が出ていて、福祉の増進を図る自治体の使命を果たしているのか。保育園待機児が深刻な中、財源があったにもかかわらず、市民の切実な要望になぜ応えようとしなかったのか。地方自治体の役割について根本的な自覚があるのか、本分が問われる事態です。

次に、決算審査の中で取り上げた問題7点について改善・改革を提案します。①障害者差別解消法の趣旨に沿った施策の総点検と改善②認可保育園の抜本増設と保育料補助拡充③公営住宅の拡充と家賃補助制度の本格的な創設④税金滞納の背景に貧困がある。滞納は支援のきっかけと認識すること⑤賃金の下限設定が出来る公契約条例の早急な制定⑥道路や公園の修繕計画の短縮⑦学校図書館への司書配置を求める。

☞平成27年度決算の解説は「広報ひの11月1日号」の２ページから４ページに掲載。ご参照を。

会議録の閲覧と検索　質疑・意見の詳細と答弁は、会議録の閲覧や会議録検索システムでご確認ください。→別掲記事（4面参照）

一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は19人の議員が質問に立ち、33項目について市長らの対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
➢第3回定例会の会議録は、11月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
➢会議録検索システムは、11月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議の様子を市議会のホームページからご覧ください。
➢生中継は本会議当日のみ。
➢録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から。

---

1 谷和彦（自由民主党）

日野市内の坂の名称について

問 新たに坂の名称を付けることについて、市の考え方を問う。

答 名称を付ける必要性や手続きを研究します。

防犯、防災について―避難勧告から学ぶもの―

問 市の考え方について問う。

答 避難行動要支援者への情報伝達体制が不十分でしたので、今後はさらなる配慮を行います。

日野市を日本一のまちへ―有言実行。大坪市長―

問 子どもの貧困について、市の考え方を問う。

答 経済的自立のみならず、日常生活や社会生活の自立と安定のために、包括的支援の実施を目指します。

2 清水登志子（日本共産党）

介護保険制度改悪の影響は深刻、実態調査と低所得高齢者の介護を保障する市制度の創設を

問 生活保護基準以下で生活している高齢者の社会保険料などの負担軽減について問う。

答 介護保険料は、生活保護基準以下の所得水準にならないように軽減することも可能です。また、国民健康保険・後期高齢者医療費用は、所得がなくても保険料はゼロ円になりません。セーフティネットコールセンターなどで相談に応じています。

問 高齢者の貧困問題として、住宅対策は重要ではないか。

答 高齢者を含めた低所得者の住宅支援として、家賃補助の拡充を考えていますが、今の財政力で市営住宅などを増やすのは難しいと考えます。

3 大塚智和（公明党）

防災・減災への取り組みについて、日野市が試される事とは

問 河川などに隣接する自治会への情報提供について、市の考え方を問う。

答 局所的な災害には対応出来ますが、広域的な災害には、現状、対応が困難であり、今後の検討課題です。

問 防災情報メールの登録促進について、市の考え方を問う。

答 自治会向け発送物に防災情報伝達手段などを同封し、登録を促します。

安全・安心のまちづくりと、住み続けられるまちを目指して

問 空き家の活用について、市の考え方を問う。

答 地域の利便性向上や、地域コミュニティー活性化の場としての活用に、積極的に関わりたいと考えています。

4 吉岡奈津恵（無会派）

人権の視点から考える防災対策～災害に強く、しなやかに回復するレジリエントなまちづくり～

問 災害が起きても、早期に回復することを意味するレジリエントについて、市の考え方を問う。

答 企業の持つテクノロジーを地域で活用するため、官民連携することにより、早期に回復する防災力の高いまちの実現と、新たな産業育成の両立を図りたいと考えています。

問 LGBTの方がいることを前提とした避難所のあり方を問う。

答 当事者の意思を最大限に尊重した避難所運営が出来るよう、各地域で作られている避難所運営マニュアルなどに、男女平等の視点と同様にセクシャル・マイノリティの支援が反映されるよう、情報発信に努めます。

5 池田利恵（自由民主党）

ワクチンを安心して接種するために～10月、生後二カ月からの乳児に導入されるB型肝炎ワクチンを徹底検証する～

問 小児ウイルス肝炎の患者数について問う。

答 全年齢で170人です。5歳未満での報告数は、10例前後と考えられます。

問 B型肝炎ワクチンを使用する際、アレルギーに注意する事項は何か。

答 酵母アレルギーを持つ人には、このワクチンを使用出来ません。

図書館行政の今後

問 中央図書館のエレベーター設置について問う。

答 2階フロアのさらなる利用を促すために、利用者用エレベーターを設置し、全ての市民が利用しやすい図書館であることを目指したいと考えます。

6 馬場賢司（公明党）

用水や河川での水辺環境を生かしたイベント開催を通して

問 水辺環境のことをまちづくりに生かすべきと考えるが、市の考え方は。

答 日野用水開削450周年の新たな事業と、スローガンである生態系豊かな水辺再生を推進します。

問 水辺環境を生かした遊歩道整備の見解を問う。

答 休憩出来るベンチやトイレの設置、現況の舗装やスロープ設置などに向けて調整を進めます。

万願寺第二区画整理事業の今後の事業展開について

問 雪印メグミルク日野工場跡地の今後の計画は。

答 関連企業が跡地に配送センターの建設を計画しています。雇用創出も図られます。併せて、ものづくりなどの市内企業誘致に向けて調整します。

7 有賀精一（無会派）

三井不動産の約束違反を問う～旭が丘・物流センター問題（4）～

問 搬出入のトラックの指定外経路走行について、市の対応を問う。

答 調整会確認事項を遵守し、その履行実績を提示するよう指導します。

水都日野の象徴である浅川の流量激減・環境保全を問う

問 下水処理水流入減少に伴う環境保全対策は。

答 湧水保全や雨水浸透などの水循環に努めます。

区画整理法は遵守されているか～日野市の区画整理事業を問う（3）～

問 借地権者委員補欠選挙未執行は法令違反では。

答 判例などから、任期満了に伴う選挙と同一に行えると判断しました。

8 近澤美樹（日本共産党）

北川原公園内にごみ搬入路建設問題―「30年間の暫定で問題なし」とする市の見解をただす

問 搬入路は30年間の暫定使用という説明を以前から繰り返しているが、社会通念上30年間を暫定と答えることに理解が出来ない。都市計画を無視することにならないか。

答 専用路は、将来の北川原公園の完成形や機能を極力損なわないように暫定使用するもので、都市計画を変更する必要はありません。

問 都の環境影響評価書案審査意見書の中で、専用路が公園利用者に及ぼす大気汚染や騒音などについて懸念する意見がある。市の見解を問う。

答 環境保全のための追加措置を行っています。その後の調査でも、各基準値を超えていません。

9 窪田知子（公明党）

がん対策と検診の充実で「健康長寿のまち・日野」へ！

問 胃がんのリスク検査の現状について問う。

答 要精密検査の方には、医師が結果説明をする際、精密検査の受診を勧めます。市でも精密検査受診状況を追跡することで、胃がんリスク検査の有効性を確保しています。

問 検診率アップのために、胃がん検診の検査方法の選択制導入を市に求めるが、考え方について問う。

答 検査として有効な内視鏡検査の実施に向けて、医師会などと協議したいと考えています。

問 路上喫煙防止に向けた条例の制定について、市の考え方を問う。

答 路上喫煙の制限などを盛り込んだ条例が必要と考え、関係部署と検討をしています。

10 鈴木洋子（自由民主党）

ひのっ子の食育と学校給食の充実を問う

問 第3期食育推進計画の検討状況について問う。

答 野菜の摂取の大切さと情報発信の強化をテーマに検討し、市民とともに食育が進められる体制をつくります。

問 本物工房ひのマニュアルとは何か。

答 安全でおいしい給食を守り続けた、日野レシピ・マニュアルです。市独自の食育やより良い学校給食の発展のために活用しています。

子ども・障がい者等弱者の命を守る防犯対策について

問 施設や地域全体の防犯対策について問う。

答 防犯カメラの設置を着実に進め、自主防犯組織による見守りや警察・消防との連携を継続し、犯罪抑止に力を入れます。

11 田原茂（公明党）

蓄雨のまちづくりと水辺環境を活かしたまちづくりについて

問 雨水をためて利活用することについて、市の考え方を問う。

答 雨水浸透を推進しつつ、雨水貯留タンクへの助成について検討します。

問 川の駅構想の復活を望むが、市の見解を問う。

答 この構想を含む水辺事業の推進に、新たな仕立てが必要と考えます。

問 小水力発電に関する取り組み状況を問う。

答 公募市民・有識者などで構成する会議を設置しました。景観を意識し、水だけでなく、根川なども含めた発電機の設置を検討しています。

問 水辺環境を生かすまちづくりの推進に、基本計画の策定が必要では。

答 水環境基本法などの趣旨を踏まえた、基本計画づくりを検討します。

12 中嶋良樹（市民クラブ）

課題解決に導く「ふるさと納税」を目指して 基金の創設とファン増やす努力を！

問 目標寄付件数など、今後の事業展開、将来像について問う。

答 企画型・体験型の返礼の検討も行い、主要事業を踏まえた、市の課題解決につながる事業を目指します。幅広く周知を図り、年々目標件数と目標額を増やしていきたいと考えます。

問 寄付者の意向を施策に反映させる工夫や、使い道の選択肢を広げることについて、市の考え方を問う。

答 シティセールスをさらに推進させ、市の施策を具体的に提示し、多くの方に賛同いただけるように検討します。また、他の自治体の例も参考に、関係部署と協議します。

13 古賀壮志（自民党新政会）

商工業について

問 商業振興計画の構成について問う。

答 6つの基本方針に基づき、22のアクションプランから成り立っています。

問 商業振興条例について問う。

答 効果と実効性のより高い商業振興を進め、商業を支える多様な主体の責務を明確化した条例を整備します。

問 企業立地支援条例の成果と今後について問う。

答 研究開発施設の設置による産業創出特性の強化や、中小事業者の誘致による事業者数及び雇用の増加、生産設備の設置による生産率の向上の効果が出始めています。工場などの建築に当たっては、緊急対応も可能な市内建設業者を用する働きかけも、商工会と連携して行っていきます。

14 奥野倫子（日本共産党）

子どもの最善の利益が保証される「子どもの貧困対策」を！

問 保育園利用者の負担軽減について問う。

答 国の定める利用者負担額との比率や制度的な整合性、他市との状況や経済的状況などを総合的に判断し、適正化を図ります。

問 学習支援等支援事業の今後の展開を問う。

答 昨年7月から市内1カ所で事業を実施し、今年度新たに2カ所を開設予定です。子どもの状況や家庭環境などさまざまな点を考慮し、開設場所を検討します。

問 就学援助費についての市の考え方を問う。

答 保護者の経済的理由による就学困難な状況を解消させて、よりよい進路に結びつくための支援や、手続きのあり方を検討します。

15 梅田俊幸（自由民主党）

豊田駅北口周辺地区のまちづくりについて

問 今回の豊田駅周辺再開発促進調査の結果に基づく市の見解を問う。

答 まちづくりマスタープランの位置づけを実現化するため、駅周辺のまちづくりを段階的に進めた結果、地域人口の回復も見られます。事業は着実に進んでいます。

土地区画整理事業についての問題について

問 豊田南地区の保留地売買の現状について問う。

答 良好な保留地の面地数不足、悪形状など住宅需要に合わない土地があり、売却実績が低迷しています。入札制度を利用し、より有利な売却促進を目指します。課題は山積みですが、しっかりと事業を進めます。

16 菅原直志（市民クラブ）

台風9号による河川氾濫避難勧告の経験をいかすために

問 SNSを活用した情報提供について、市の検討状況を問う。

答 消防団や各避難所に配置した誘導員などによる、SNSを活用した情報提供体制の構築などを検討します。

がんに関わる基本計画策定を経て、さらなる推進を求める

問 がん教育の方向性について問う。

答 がんの基礎知識、予防策、検診の重要性などを学習する機会が必要と考えます。市民向けには、体験に基づいた講演会やシンポジウムの実施を、学校では、がん患者の方を講師として呼ぶなど、がんという疾病を身近に感じる取り組みを行いたいと考えています。

17 中野昭人（日本共産党）

都知事選挙の結果から考える―市として生かすべきこと、やるべきこと

問 新知事は多摩格差ゼロを掲げ、交通網整備の解決を表明した。いかに都へ働き掛けていくのか。

答 コミュニティーバス運行と財政支援を求めるなど、全力を挙げます。

強行すれば法令違反が明らかな北川原公園予定地へのごみ収集車専用路の整備問題―市長には「自治体は法令遵守を強く求められる立場にある」との自ら表明した立場を貫いた解決を心から求める！

問 行政財産は、その目的達成のために使用されるもので、専用路は公園の目的外の使用では。

答 公園の用途・目的を妨げないよう整備します。

18 大高哲史（公明党）

公営住宅の増設・家賃助成制度の拡充で、働く若者たちも安心して暮らし続けられる日野市に！

問 公営住宅の増設について、市の考え方を問う。

答 公営住宅の増設ではなく、民間賃貸住宅の空き家を活用し、住宅セーフティーネットに必要な住宅の確保を図っていくべきと考えます。

問 南平体育館建て替え問題～市は責任あるデータを示し、市民とともに今後のあり方を決めよ！

問 南平体育館の耐震診断、耐震補強の試算を示すべきでは。

答 南平体育館は特殊な構造で、耐震診断を進めることを断念しています。現状では、耐震化するための費用や期間の算定が出来ない状況です。

19 峯岸弘行（公明党）

障がい者を守るための対策について

問 心のバリアフリー教育の現状について問う。

答 道徳の時間やさまざまな活動から、学ぶ機会を設けています。今後も指導の充実を図ります。

2020年を目指し、新たな観光施策の推進を

問 無料Wi-Fiの導入について問う。

答 観光案内所と新選組のふるさと歴史館で、年度内の設置に向けた準備を進めています。

ふれあい橋周辺でのバーベキューのごみ対策について

問 ごみの不法投棄対策について問う。

答 シルバー人材センターによる巡回をし、ごみの持ち帰りなど、周知を強化します。

主な議題

1面に続き、平成28年第3回定例会で審議された主な議題を紹介します（議案名は一部要約しています）。

●平成28年度一般会計補正予算（第3号） 可決

補正額は、歳入・歳出それぞれ27億6千931万円を追加し、一般会計予算の総額を643億8千986万円とするもの。主な項目は次のとおりです。

【歳入】地方交付税…普通交付税の交付額決定により1億4千123万円の増／**国庫支出金**…地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金などで811万円の増／**都支出金**…学校支援ボランティア推進協議会事業費などで900万円の増／**繰入金**…財政調整基金バリアフリー事業推進基金の繰り入れなどで1億1千60万円の増／**繰越金**…前年度繰越金が全額確定して24億6千848万円の増

【歳出）**総務費**…ふるさと納税事業に762万円、基金積立金に25億171万円／**民生費**…とよだ保育園民営化に向けた準備として、既存園舎の解体工事に857万円／**衛生費**…予防接種経費に3千911万円、市立病院事業会計への補助に3千250万円／**土木費**…幹線市道1の9号線のバリアフリー化整備に4千932万円、（仮称）百草谷戸公園の整備に3千1万円／**教育費**…大坂上中をより魅力ある学校にするプロジェクト経費として、地域未来塾における学習支援を促進するためのタブレットパソコンほか備品などの購入に397万円

●人事案件 可決

▼人権擁護委員の推薦…吉野美智子氏（豊田1の23の5）／山口徹雄氏（多摩平1の6の19）／水野真紀氏（程久保8の47の2）

重いよ、ヨイショッと！ 撮影：伊東繁雄さん
「伸びゆく日野市写真コンクール」入賞（産業まつり）

政府等へ意見書

第3回定例会で可決された意見書は1件で、関係各機関に送付しました。要旨は次のとおりです。

（全文は、市議会ホームページに掲載）

■返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

現行の奨学金制度は、利用者が増加傾向にある一方、非正規雇用などによって卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人が少なくありません。よって、学生が安心して勉学に励めるよう、次の事項について取り組むことを強く求めます。

①経済的理由で進学を断念しないよう、奨学金や授業料減免などの支援を拡充。貧困の連鎖を断ちり切るため、2017年度をめどに、給付型奨学金を創設。②無利子奨学金の貸与を目指した動きを加速させ、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消。③低所得世帯は、学力基準を配慮し、無利子奨学金を受けられるようにする。④返還月額が所得に連動する制度を着実に推進。低金利環境を踏まえ、有利子奨学金の金利を引き下げること。

皆さんからの請願

第3回定例会では、前回の定例会から継続審議となっていた請願1件について、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
企画総務委員会	米軍属による死体遺棄事件への謝罪と補償を求め、不平等な日米地位協定の見直しを求める意見書を政府に提出する請願	不採択

請願・陳情

皆さんの声を市政に

請願・陳情は、市政に関する意見や要望を、議会に対して文書で提出する制度です。請願と陳情とでは、議会での取り扱い方が違いますので、次の点に留意して、議会事務局に提出してください。

【請願】

請願内容を議会で審議し、採決されます。希望により、所管する委員会において、請願の趣旨を説明することが出来ます。ただし、請願の趣旨に賛同した紹介議員1人以上の署名が必要です。

【陳情】

議会閉会中でも、陳情内容を速やかに全議員へ配布します。ただし、議会での審議や採決は行われません。

【請願の提出】

請願の提出締め切りは、各定例会初日の正午です。これを過ぎると、次回定例会での審議になります。

請願の書式（表紙）は左図のとおりです（日野市議会のホームページからダウンロード可。陳情も同様の書式で）。内容は簡潔に記載してください。

なお、請願・陳情とも、郵送では受け付けませんので、ご注意ください。

日野市議会議長　　様

件名
○○○○○○○○○○
に関する請願

平成　　年　　月　　日

請願代表者
住所
氏名　※自署しない場合は押印が必要
他○○名
（市内○○名、市外○○名）
電話

紹介議員
氏名

※A4判、横書きで。2枚目以降に本文を。

陳情

請願・陳情の出し方は、日野市議会のホームページ（トップページにある左のイラストのボタンから入れます）にも掲載しています。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

次回は11月30日開会

平成28年 第4回定例会（予定）

傍聴にお出掛けください

➢午前10時に開議する予定。
➢一般質問の発言順は、11月25日(金) に決定し、市議会のホームページで公表。

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	初日 11/30 本会議 会期決定 議案上程 など	12/1	2 本会議 一般質問	3
4	5 本会議 一般質問 請願上程	6 本会議 一般質問	7 本会議 一般質問	8 本会議 一般質問 議案上程 など	9	10
11	12 常任委員会 〔企画総務委員会〕	13 常任委員会 〔民生文教委員会〕	14 常任委員会 〔環境まちづくり委員会〕	15	最終日 16 本会議 審査報告 議案上程 採決 など	17

請願の提出　定例会初日〈11月30日(水)〉の正午までに提出された請願は、上表の日程の中で審議されます（変更される場合あり）。詳しくは、議会事務局へ。

夢灯り　撮影：橋本昌利さん（三沢在住）
「伸びゆく日野市写真コンクール」入賞（たかはたもみじ灯路）

平成28年第３回 定例会で議決した議案

下表のように、市長提出議案19件、議員提出議案1件が審議・議決されました（議案名は、一部要約しました）。

▼賛否の分かれたもの

○…賛成　×…反対

議案名 ＼ 会派名 / 所属する議員名	市民クラブ					公明党					自由民主党				自民党新政会		日本共産党					無会派		議会結果
	中嶋良樹	鈴木勝豊	菅原直志	秋山薫	江口和雄	大塚智和	峯岸弘行	窪田知子	馬場賢司	田原茂	鈴木洋子	谷和彦	池田利恵	梅田俊幸	奥住匡人	古賀壮志	西野正人	近澤美樹	大高哲史	清水登志子	中野昭人	奥野倫子	有賀精一	吉岡奈津恵	
市長提出　平成27年度　一般会計決算	○					○					○				○		（議長）	×					×	○	認定
市長提出　平成27年度　国民健康保険特別会計決算	○					○					○				○			×					○	○	認定
市長提出　平成27年度　土地区画整理事業特別会計決算	○					○					○				○			×					×	○	認定

※議長は、賛否の表明に加わりません。

▼全会一致で可決したもの

「認定」「承認」「同意」を含みます。

市長提出

- 高齢者憲章の制定
- 平成28年度　一般会計補正予算（第２号）の専決処分
- 平成27年度　下水道事業特別会計決算
- 平成27年度　介護保険特別会計決算
- 平成27年度　後期高齢者医療特別会計決算
- 平成27年度　市立病院事業会計決算
- 特別職の非常勤職員の報酬と費用弁償条例の一部改正
- 空き住宅等の管理活用条例
- 病院事業の設置条例の一部改正
- 平成28年度　一般会計補正予算（第３号）
- 平成28年度　国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
- 平成28年度　下水道事業特別会計補正予算（第１号）
- 平成28年度　介護保険特別会計補正予算（第１号）
- 平成28年度　後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
- 平成28年度　市立病院事業会計補正予算（第１号）
- 人権擁護委員の推薦

議員提出

- 返済不要の「給付型奨学金」の創設と無利子奨学金の拡充を求める意見書